

平成30年10月3日

食農学類準備室が新任教員（望月 翔太 准教授）を採用

食農学類準備室は、平成30年10月1日付で望月翔太准教授を採用しましたので、ご報告いたします。

○望月 翔太（もちづき しょうた）准教授
（元新潟大学 農学部 助教）

【専門分野】

野生動物管理学、森林保護学

【研究活動の概要・今後の抱負】

人と野生動物との軋轢、特に農作物被害や林業被害、人身被害を低減するための教育研究に取り組んできました。野生動物の生態を明らかにするために、動物に電波発信機やGPS首輪を装着し、モニタリングを実施してきました。また、そこから得られる情報を**地理情報システム(GIS)**上で分析し、被害が生じやすい農地のマッピングや、動物の生息密度の推定、被害対策の効果検証など、動物情報の地図化を行ってきました。さらに、NPO法人や一般社団法人を組織し、**集落単位での鳥獣害支援や鳥獣害対策の人材育成**に携わってきました。野生動物の動きを把握する**生態学**と、被害対策を実施する集落を作り出す**社会学**の両面から、**鳥獣害の対策を切り口として地域課題を解決する事**が目的です。

福島大学では、**人口減少社会における野生動物管理**に関する教育研究を実施したいと考えております。福島県は、原発事故後の帰宅困難地域や、緩やかに人口が減少する中核都市、急速な高齢化・過疎化が懸念される中山間地など、今後の**日本社会の縮図**だと考えております。その中で、様々な地域の伝統、文化、風土を継承するため、鳥獣害対策から、しっかりと農業を営んでいける環境作りをしていきたいと考えております。

平成31年に新設される**農学群食農学類**は、福島県の皆様から高い期待を受けていると感じています。地方大学は地域に根差し、地域の課題を解決する事が大事だと強く思っております。変化する社会の中で、柔軟に考え、行動できる人材を送り出せるよう、食農学類の設置準備に邁進していく所存です。

（お問い合わせ先）
食農学類支援準備室
電 話：024-548-8212
メール：nogaku-j@adb.fukushima-u.ac.jp